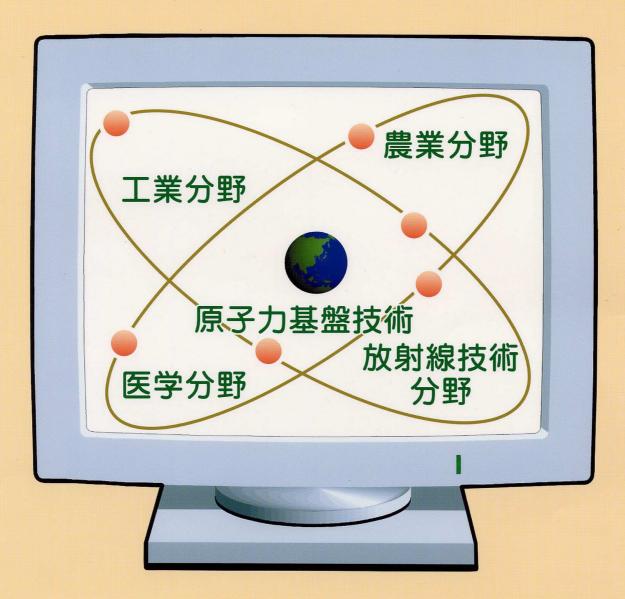


技術の地域産業への展開をめざして、放射線利用技術・原 子力基盤技術に関する情報を提供しています。



文部科学省

放射線を利用した技術は実用的に優れた多くの特徴を持っており、 工業、農業、医学、計測・環境分析など身近なところで様々に利用さ れていますが、一般の人々には意外にこのことは知られていないのが 実状です。

放射線利用技術の更なる普及のためには、放射線利用技術、および その基礎となる原子力基盤技術の特徴や内容が多くの人に理解される ことが大変重要です。

このベータベースは文部科学省の「放射線利用技術・原子力基盤技 術移転事業」の一環として、(財)放射線利用振興協会が委託を受けて 整備し、インターネットでどなたでもアクセス可能です。

放射線の特徴をうまく活かし、地域産業に関連した開発テーマの発 掘のために、研究者・技術者をはじめ、一般の方々も気軽に利用され ることを期待します。

「**放射線利用技術データベース**」では、現在実用化されている、あ るいは将来実用化される可能性がある技術など放射線利用技術全般に ついて、個々の技術の概要、特徴、将来展望を分かり易く解説してい ます。

「**原子力基盤技術データベース**」では、材料、人工知能、レーザー、放射線の生物影響などの分野で得られた成果を解説しています。

放射線利用技術データベース

放射線利用技術では大きく4つの分野に分け、それぞれをさらに分類(中分類、小分類)して、データ(論文)が収録されています(複数分野に関連するデータは、関連分野それぞれに 収録されています)。



原子力基盤技術データベース

原子力基盤技術では8つの領域に分け、それぞれをさらに分類(中分類、小分類)して、デ ータが収録されています。



データベース利用の手順

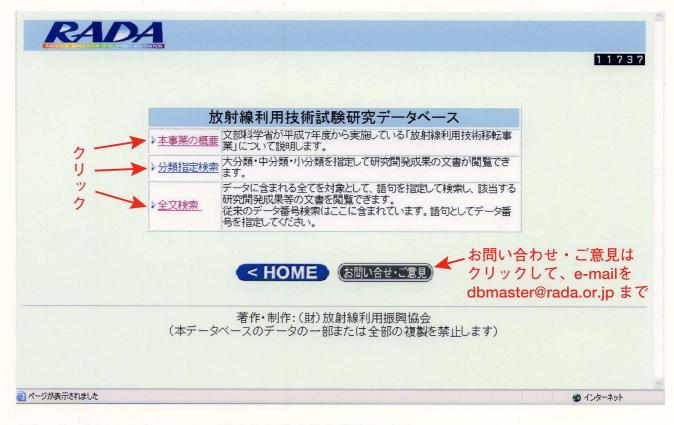
本データベースは、HTML形式のデータをインターネットで配信する方式です。インターネットに接続できるパソコンから、どなたでもこのデータベースが利用できます。利用の手順は 次に示すように簡単です。

1) Internet Explorer、Netscape Navigator、Mozilaなどの閲覧ソフトで http://www.rada.or.jp/database/

にアクセスします。

なお、http://www.rada.or.jp/ は、(財) 放射線利用振興協会のホームページで、ここからもデータベースにアクセスできます。

2) このページの中の「放射線利用技術データベース」または「原子力基盤技術データベー ス」をクリックして、次のような検索メニュー画面に入ります。

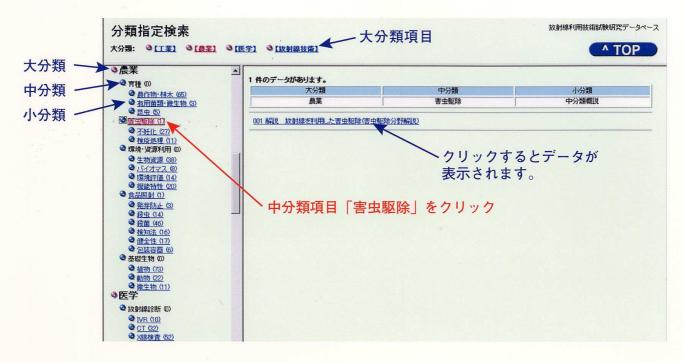


- 3) データベース主メニュー画面から検索法を選択します。
 - ・分類指定検索・・・分類項目を絞って行き、小分類項目でデータの標題を表示します。
 - ・全文検索・・・・ワード検索方式ですが、特定のキーワードではなく、データに含まれる全てを対象として検索します。従って、学術用語に加え、一般用語、人名、地名、機関名でも検索できます。
 さらに、同義語辞書を備えており、容易に目的のデータを検索できます。

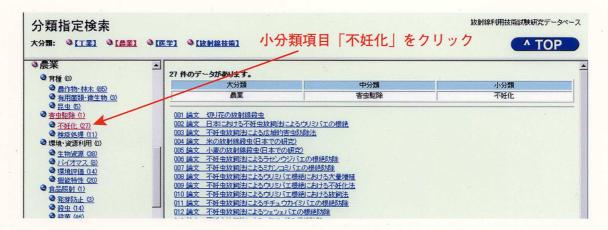
検索の方法 1)分類指定検索

画面に分類項目が表示されます。大分類項目の[工業]、[農業]、[医学]、[放射線技術]の どれかをクリックすると、その大分類項目にジャンプします。

中分類項目に続く括弧内の数字は、その中分類項目全体を説明するデータの数です。(0) の場合は、解説がありません。



小分類項目をクリックすると、データの標題が表示されます。小分類項目に続く括弧内の数 字はデータの数です。この中から目的のデータを見つけて下さい。



小分類項目に含まれる全データの一覧表示で、標題に加えて概要も表示するには、6頁に記 すように「全文検索」で分類コードを利用して下さい。

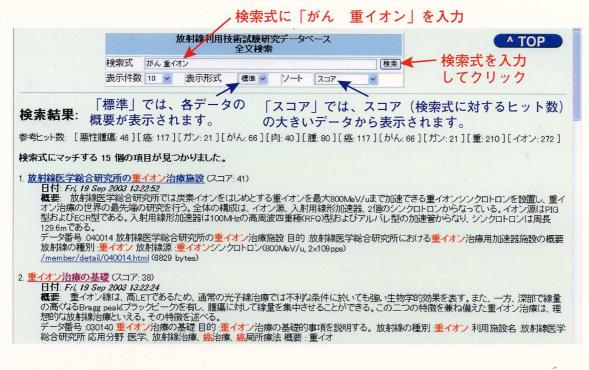
- 4 -

検索の方法 2) 全文検索

画面に検索式入力ウインドウが表示されます。その下に検索式入力方法の説明があります。

同義語辞書によって、「がん」と入力しても、「癌」や「悪性腫瘍」などの語句を含むデータ を検索できます。同義語の例には、「ガンマ線」と「y線」や「直線加速器」と「リニアック」、 「ライナック」などがあります。

核種は、例えば18FとF-18のどちらでも検索できます。



「表示件数」、「表示形式」、「ソート」(表示するデータの順番)を変更した場合は、もう一度「検索」ボタンをクリックして下さい。各データは<データ番号>.htmlという名前が付けられていますので、「ソート」の「URI(昇順)」ではデータ番号の小さい方から先に表示されます。

*	放射線利用技術試験研究データベース 全文検索	ТОР
	検索式 がん 重イオン 検索	
	表示件数10 🗙 表示形式 簡潔 🖌 ソート URI (昇順) 💌	
検索結果:	「簡潔」では、データの概要が表示されません。	
参考ヒット数: [悪]	監査[[編: 46][癌: 117][ガン: 21][がん: 66][肉: 40][腫: 80][癌: 117][がん: 66][ガン: 21][重: 210][イオン: 27	2]
検索式にマッチす	する 15 個の項目が見つかりました。	
	L よる医用高分子材料の開発 (スコア:9) etail/010182.html (4669 bytes)	
2. <u>放射線治療につ</u> /member/det	etail/030005.html (6497 bytes) テーダ番号は 010182」 ぐり。 テーダ	
	治療(ラジオサージャリ装置 (スコア:3) 番号の先頭の2桁は大分類に対応し、 etail/030089.html (8794 bytes) 続く4桁は作成された順番です。	
	機関における放射線発生装置の利用状況 (スコア: 6) etail/030117.html (5155 bytes)	

検索の方法 2)全文検索(続き)

データ番号が分かっているデータは、データ番号を検索式に入力して検索することができま す。

	放射線利用技術試験研究データベース 全文検索 ヘ TOP				
	検索式 030229 検索				
	表示件数 10 - 大表示形式 標準 - ソート スコア				
検索結果: 参考ヒット数: [0302:	検索式にデータ番号「030229」を入力 29:1]				
検索式にマッチする	検索式にマッチする 1 個の項目が見つかりました。				
 F-18-FDGを用いるクリニカルPET (スコア:1) F-18-FDGを用いるクリニカルPET (スコア:1) F-18で標識したフルオロデオキシグルコース(FDG)を用いるPET 検査は、肺癌、大腸癌、頭頚部腫瘍、悪性リンバ腫等の診断に臨床 的有用性が実証され、早期癌の検出が可能である。F-18 FDG PET 検査は、非侵襲的で安全であり、癌のスクリーニングに有用である。ま た、心疾患や脳神経疾患に対しても有用性がある。クリニカルPETとして、日常の臨床に利用されつつある。 データ番号、030229 F-18-FDGを用いるクリニカルPET 目的:18F-FDGを用いるクリニカルPETの腫瘍診断等の臨床的有用性の紹介放射線 の種別 ガンマ線 放射線源 陽電子放出RI 利用施設名 山中湖クリニック、西台ク /member/detail/030228.html (5254 bytes) 					
Current List: 1 - 1 Page: [1]					

分類コード(9、10頁参照)を検索式に入力して検索すると、小分類項目の全データが表示 されます。

	放射線利用技術試験研究データベース 全文検索		ベース	^ TOP
	検索式 020303		検索	
	表示件数 10 🖌	表示形式 標準 ソート	· 277	
検索結果: ^{参考ヒット数:} [0203		(農業分野の	[コード「020303」 小分類項目「環境	
検索式にマッチする	14 個の項目が見つ	かりました。		
概要: 宇宙線 からなる ¹² CO ₂	Jan 2004 18:04:26 の作用により大気中で ,, ¹³ CO2と共に大気中(に存在する $14CO_2$ を動植物が光合	成や食物連鎖により固定したの	正確な時計として利用する。安定な炭素 かち、それらが枯死・死亡してから現在ま
を検出すること	により、牛物関連物質	の生成年代が決定できる。		気中CO2の特徴的で ¹⁴ C濃度経年変動 学際的研究試料の高精度放射性炭素年

データの例

^{データ番号}:020235 イオンビーム照射によるダリア花色変異品種の育成

目 的	:イオンビーム利用による花卉園芸植物の新品種の育成に関する調査
放射線の種別	:ガンマ線
放射線源	: ⁶⁰ Co(44.4TBq)、重イオン加速器(135MeV/u, 1pnA)
線量(率)	:ガンマ線 12.5Gy (0.5Gy/h)、255Gy (1Gy/h) 37.5Gy (1.5Gy/h)、45Gy (1.8Gy/h)
	重イオン 5-100Gy
利用施設名	:農業生物資源研究所放射線育種場ガンマールーム、理化学研究所加速器施設(RARF)
照射条件	:大気中
応用分野	:農業、園芸学、植物生理学

概 要:

詳細説明:

広島市では、日本でも珍しい切り花ダリアの電照抑制栽培(冬切り栽培)が行なわれている。冬切り栽培に向く品種はごく一部に限られる ため、新品種開発のため、(財)広島市農林業振興センターでは平成8年度より y 線照射、平成10年度より重イオン照射による放射線育種に取 り組んだ。

1. γ線照射

切り花ダリア品種のうち、培養による大量増殖技術を確立した「美榛」、「聖火」、「紅星」、「バルセロナ」、「朝陽」、「舞姫」、「ピンクレディ ー」、「ニートイエロー」の8品種の茎頂培養体を供試した。照射培養体は発根増殖培地(1/2MS、NAA0.3mg/L)に挿し芽し増殖後、ミスト 下で順化し、伸長してきた芽をさらに増殖し定植苗とした。12.5グレイ(Gy)、25Gy、37.5Gy照射では、枯死する株はほとんどなかった。 45Gy照射では、株の生長が阻害され、栽培が困難なものが多かった。線量増加による明確な変異率の増加は確認できなかった。全体的に、花 弁数は増加するものが多数観察され、減少するものは少なかった。花色変異は複色品種で多く観察され、単色花になる変異が大部分であった。 ピンク単色の「美榛」では、花弁数は多くなるものが多く、花色は濃ピンクから淡ピンク・白へ変化するものが観察されたが、淡くなる傾向 が強かった。その中でも、多弁化し、花色が淡ピンクとなったもの(37.5Gy照射区)および花色が淡ピンクとピンクの複色となったもの (45Gy照射区)の2つの変異花は新品種として有望であったが、その後の栽培調査で形質が安定しておらず、実用化には到らなかった。

2. 窒素イオンビーム照射

平成10年11月に「美榛」の茎頂培養体に窒素イオン(¹⁴N⁷⁺)ビーム(135 MeV/u、LET 28.5keV/mm)を5~100Gy照射した。照射培養体 は発根増殖培地で培養し、増殖後馴化した。その後、ピンチ、挿し穂し育苗したものを定植苗とした。翌年初夏に圃場に定植し、4本仕立てで 栽培し、秋に変異特性を調査した。20Gy以上の照射区では培養体の生育・増殖が顕著に阻害された。5Gyと10Gy照射区では培養体・定植苗と も生育は無照射個体とあまり差が無く、多様な変異が観察された(図1)。

窒素イオンビーム照射ではy線よりも極端な形態異常花が観察された。例えば、y線よりも花色が濃くなる傾向が強く、花弁数は減少する ものが多く、また複色や条斑タイプの変異花が多数出現した。白色に赤色や濃赤色に桃色の条斑の入る変異花、赤色に白い星斑が入った変異 花は、窒素イオンビーム照射によってのみ観察されたが、これらの形質は固定できなかった(図2)。

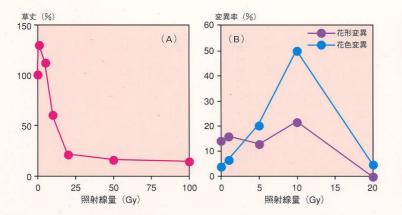




図2 ダリア花色・花形変異株(原論文3より引用)

図1 窒素イオンビーム照射の生長量への影響および花色・花形変異誘発率 (原論文3の表を参考に作成) A.1ヶ月後の培養体の草丈(無照射区の草丈 を100%とした) B. 平成11年9月から11月の花色・花形調査による変異花誘発 率(原論文3より引用)

園芸的に有望な変異株としては、多弁化した濃赤桃色の変異花および淡桃色のつまの入った変異花はその形質が安定していた。濃赤桃色花 変異株は「美榛」より大輪化し暖色系で豪華なため、平成13年秋から愛称「ワールド」として広島市中央卸売市場にて試験販売を行なったと ころ、単色ダリアの中では高めの単価で取引されるなど好評である(図3)。



図3 窒素イオン照射により得られたダリア新品種「ワールド」(愛称)

ワールド

「美榛」はもともと濃赤桃色の「榛原の里」品種の枝変り品種であり、「ワールド」は花色が先祖帰りしたものと言える。ところが、花の形 態以外の性質は「美榛」に近く、「榛原の里」より生育が旺盛で茎の伸びが良く切り花むきであった。しかし、花が多弁化したためか花首が曲 がるものがあり、今後更に選抜を重ねる必要がある。

コメント:

平成10年11月に照射し、有望な変異形質選抜・変異形質の固定・栽培調査を行い、試験販売が13年秋と僅か3年で新品種販売を可能にしたのは、 (財)広島市農林業振興協会が地元に密着した育種を目指し、品評会など農家と交流を密に計っていることも要因の1つであるが、変異率の高 い重イオン照射技術と大量増殖法など培養技術との融合によるところが大きいと思われる。同様にイオンビーム照射により育成した、サント リーフラワーズ(株)の不稔化バーベナ、新花色ペチュニア、(株)キリンビールの新花色カーネーション等のいずれも育種年限は2年から3年 と短い。これらの育種年限短縮による経済効果は大きいと考えられる。

原論文1 Data source 1:

ダリアの組織培養(第6報)放射線育種(その1) 高井敦雄 (財)広島市農林業振興センター (財)広島市農林業振興センター試験報告,平成8年度,115-122 (1996)

美榛

原論文 2 Data source 2:

ダリアの組織培養(第8報)放射線育種(その3) 飯塚康博 (財)広島市農林業振興センター (財)広島市農林業振興センター試験報告,平成10年度, 89-92 (1998)

原論文 3 Data source 3:

重イオンビーム照射ダリア栽培試験 濱谷美佐子、飯塚康博、山本昌生* (財)広島市農林業振興センター、広島市植物公園* (財)広島市農林業振興センター試験報告,平成11年度,54-71 (1999)

原論文 4 Data source 4:

重イオンビーム照射ダリア栽培試験.変異の固定度調査 飯塚康博 (財)広島市農林業振興センター (財)広島市農林業振興センター試験報告,平成12年度,38-39 (2000)

原論文 5 Data source 5:

Mutant flowers of Dahlia (Dahlia pinnata Cav.) induced by heavy-ion beams M. Hamatani, Y. Iitsuka, T. Abe*, K. Miyoshi***, M. Yamamoto** and S. Yoshida* (財) 広島市農林業振興センター、理化学研究所植物機能研究室*、広島市植物公園**、秋田県立大学生物資源科学部*** RIKEN Accel. Prog. Rep. 34, 169-170 (2001)

作成: 阿部 知子 2004/3/8

キーワード: 重イオン, 変異花, ダリア, 園芸, 突然変異育種, heavy ion, flower mutant, dahlia, horticulture, mutation breeding 分類コード: 020101、020301、020501

分類一覧

放射線利用技術データベース分類一覧*

工業分野	農業分野	医学分野	放射線技術分野
01 工業利用	02 農業利用	03 医学利用	04 放射線技術
01 材料加工 01 高分子材料 02 複合材料 03 セラミック 04 ゴム・ラテックス 05 電線ケーブル 06 繊チーブ 09 装飾財 02 機能材料の創製 01 分型 01 分離機能材料 02 機能材料の創製 01 分型 02 機能材料の創製 01 分離機能材料 02 機能材料の創製 01 分離機能材料 03 吸着 04 生み 05 電機能材料 05 電子機能材料 05 電影動 02 センサー材料 03 吸着 04 生みろ 05 電影和 04 生みろ 05 微離和 06 光概2 01 印刷 02 塗装着 03 動和 04 医療 05 微方 06 光概 07 熱変勝約 01 包装材料 02 医療 03 動物 04 医療 05 環境保全 01 排ガス処理 03 汚泥 04 重会解物 05 第小の分面 04 重会解物 05 第一の分解 06 リサイクル処理	01 育種 01 農作物・林木 02 有用菌類・微生物 03 昆虫 04 (将来利用予定 番号) 05 照射施設 02 害虫駆除 01 不妊化 02 検疫処理 03 (将来利用予定 番号) 04 (将来利用予定 番号) 04 (将来利用予定 番号) 05 照射施設 03 環境・資源利用 01 生物資 03 環境・資源利用 01 生物資 03 環境・資源 03 環境・資源 04 (将来利用予定 番号) 05 照射施設 03 環境・資源 04 後日 04 検知法 05 健全容器 07 PR・消費者意識 08 照射 05 基礎生物 01 植物 02 動物 03 微生物	 01 放射線診断 01 以R 02 CT 03 X線検査 04 PACS 05 骨塩定量 06 MRI 07 US (超音波) 02 放射線治療 01 放射線外部照射 02 粒子外部照射 03 小線源和用予定 番号) 05 (将来利用予定 番号) 05 (将来利用予定 番号) 03 体医学 01 核医学診断 02 RI治療 03 体外核医療機器 01 診断 02 治療 03 核医 04 放射線計測機器 05 放射性医薬品 03 治療用医薬品 04 放射線管理 07 放射線 05 放射線 05 放射線 05 放射線管理 07 放射線 07 放射線 04 放射線 05 放射線 05 成射線 06 放射線 07 放射線 07 放射線 07 放射線 04 放射線 05 成射線 05 成射線 06 放射線 07 放射線 02 放射線 04 放射線 05 成射線 04 放射線 05 放射線 05 成射線 04 放射線 05 放射線 05 成射線 06 放射線 07 放射線 07 放射線 07 放射線 02 放射 05 次射線 05 次射線 05 次射線 06 次射線 07 放射線 07 放射線 04 放射 05 次射線 05 次射線 05 次射線 05 次射線 05 次射線 06 次射線 07 次射線 07 次射線 04 次射線 05 次射線 05 次射線 05 次射線 05 次射線 05 次射線 06 次射線 07 次射線 07 次射線 07 次射線 02 次射線 04 次射線 05 次射線 05 次射線 05 次射線 05 次射線 05 次射線 06 次射線 07 次射線 07 次射線 07 次射線 02 次射線 04 次射線 05 次射線 05 次射 05 次射線 06 次射線 07 次射線 07 次射線 05 次射 05 次 05 次射 05 次射 05 次射 05 次 05 次 05 次 05 次<td>01 原子炉・加速器線源 01 イオンビーム 02 電子・陽電子ビ -ム 03 中性子線 04 ガンマ線 05 エックス線 06 粒子ビーム技術 07 放射線源 01 アルファ線源 02 マータ線源 03 防力 04 ガンマ線 05 エックス線 06 粒子ビーム技術 07 放射線源 01 アルファ線源 02 ベータタ線源 03 陽ママ線線 04 ガンマタ線線源 05 中性液線源 05 中性液線 05 中性液線 06 線射線計測 01 放射射線計 02 線量測定 03 ラジオグラフィ 04 五素分析 05 工業人の 05 工業人の 05 加速と 05 加速と 05 加速 05 物性・構造 02 次 04 照射 05 次日 0</td>	01 原子炉・加速器線源 01 イオンビーム 02 電子・陽電子ビ -ム 03 中性子線 04 ガンマ線 05 エックス線 06 粒子ビーム技術 07 放射線源 01 アルファ線源 02 マータ線源 03 防力 04 ガンマ線 05 エックス線 06 粒子ビーム技術 07 放射線源 01 アルファ線源 02 ベータタ線源 03 陽ママ線線 04 ガンマタ線線源 05 中性液線源 05 中性液線 05 中性液線 06 線射線計測 01 放射射線計 02 線量測定 03 ラジオグラフィ 04 五素分析 05 工業人の 05 工業人の 05 加速と 05 加速と 05 加速 05 物性・構造 02 次 04 照射 05 次日 0

* 各小分類項目の分類コードは大分類、中分類、小分類のそれぞれ2桁の数を並べた6桁の数で 与えられます。例えば、工業分野の小分類「セラミック」分類コードは、010103です。

材料領域 計算科学領域 人工知能・知的支援領域 レーザー領域 11 材料 12 人工知能·知的活動支援 19 計算科学 14 自由電子レーザー 01 材料の表面 01 プラント情報処理 01 計算一般 O1 要素・形成技術 01 表面反応 01 プラント運転システム 01 アンジュレータ 01 原子力用計算科学 02 電子状態·振動状 02 診断技術 02 加速器 一般 能 03制御技術 02 エボリューショナル 03 電子ビーム 03 格子欠陥 04 保守手順作成技術 アルゴリズム 04 光共振器 04 表面改質 05 知識ベース管理技術 02 数値解析アプリケーション 05 ゲイン測定 05 吸着·分離 02 点検・保守用 02腐食・劣化 01 数值流体力学 06 発振技術 ロボット技術 01 金属材料の腐食 02 量子力学・量子化学 02 高度化技術 01 ロボットの移動技術 02 セラミックス材料 03 非弹性構造応答解析 01 短波長化 02 ロボットの視覚技術 の腐食 04 微視的シミュレーション 02 大平均出力化 03 高分子材料の劣化 03 複数ロボットの協調 05 材料の変形・き裂 03 高品質化 03 複合材料 動作技術 シミュレーション 03 応用技術 01 高分子系複合材料 04 複数ロボットの協調 03 計算機利用技術 01 光プロセス 02 金属系複合材料 センシング技術 01 メッシュ生成法 02 原子力 03 セラミックス系 05 ロボット用の環境 複合材料 03 医療 02 並列計算手法 モデリング技術 04 照射効果 03ネットワーク計算手法 04 生物学 06 ロボットの被曝評価 01 照射効果一般 04 可視化技術 技術 02 金属の照射損傷 07 マニピュレーション技術 03 半導体・セラミックス **O3** マンマシンインターフェース技術 の照射損傷 01 プラント状態表示技術 05 材料開発 01 材料開発一般 02 教示技術 02 金属材料の開発 04 知的活動支援 03 非金属材料の開発 01 知的活動支援研究

の概要 02 知的対処支援 03 知的対処能力の獲 得/維持支援

原子力基盤技術データベース分類一覧

放射線リスク評価	放射線リスク評価	放射線ビーム利用先端	放射線ビーム利用先端
・低減化領域(1)	・低減化領域(2)	計測・分析領域(1)	計測・分析領域(1)
15 生物の放射線影響	16 放射性核種の環境挙動	17 陽電子発生・利用技術	18 高輝度放射光利用
 01 実験手法・技術開発 01 解析法 02 分子交雑法 03 保存法 04 動物実験 05 リンパ球間期死 02 自動解析システム 01 画像解析法 02 生物標本作製法 03 細胞計数法 03 生体構造・機能解析 01 微生物 02 培養細胞 03 シミュレーション 04 応用技術 01 医療利用 02 環境安全 	 01 動的移行モデル 01 大気拡散 02 水・ガス循環 03 土壌中移動・地表面 流出 04 植物移行 05 再浮遊・沈着・付着 02 データ・パラメータ 01 移行パラメータ 02 フィールド 03 室内実験データ 04 環境条件 03 リスク評価 01 環境影響評価 02 被曝線量 03 線量低減化 04 環境回復 	 〇1 ビーム発生・形成技術 〇1 発生技術 〇2 ターゲット技術 〇3 短パルス化技術 〇4 偏極陽電子ビーム 〇5 マイクロビーム 〇2 計測・分析技術 〇1 陽電子消滅励起 オージェ電子分光 〇2 陽電子回折 〇3 陽電子寿命一運動 量相関測定法 〇4 高精度ドップラー 幅測定法 〇5 パルス陽電子寿命 測定 〇5 パルス陽電子寿命 測定 〇3 応用技術 〇1 応用技術一般 〇2 機構解明 〇3 機能材料創製 	



このデータベースは、今後随時改訂や新しい情報の追加 によって。内容の更なる充実を図って行きたいと考えてお りますので、お気軽にご意見をお寄せ下さい。

お問い合わせ先 (財)放射線利用振興協会 高崎事業所 普及開発部 〒370-1207 群馬県高崎市綿貫町1233 Tel:027(346)4246 Fax:027(346)9822 E-mail:dbmaster@rada.or.jp http://www.rada.or.jp/

> この冊子は、文部科学省の委託により (財)放射線利用振興協会が作成しました。